

プロレタリア通信 No.1

「論点」

現代日本主義の歴史的根柢は、...

日本資本主義の歴史的根柢は、...

現代日本主義の歴史的根柢は、...

「日本共産党の歴史的根柢」

その三十余年の歴史を振り返ると、...

第二次大戦の敗北は日本の階級闘争を...

日本共産党は、...

日本の労働階級は、...

革命的階級の下に於ける...

日本共産党の歴史的根柢は、...

日本の労働階級は、...

二五十年問題の教訓

一九四九年に世界資本主義をおそった、オ三次大戦後の初の危
 険、資本主義諸国の労働者の斗争と植民地諸国人民の解放戦に
 大なる展開力を与え、中国と東欧における革命の勝利をみちび
 いた。斗争の前進の中で、西欧資本主義諸国における敗北の苦い程
 度の中から、社会民主主義に対する決定的批判を伴わぬ右翼的
 統一戦線戦術に対する労働者の疑念と批判がひろがりはじめた。
 他方資本主義諸国の改革に對する防衛戦の中で、スロベニア
 が激進的打撃を蒙り、プロレタリアートの斗争の中で、改
 進黨が完全な指導権を確立したのちになって、いせんとして旧
 の敗北的路線に固執していった共産党の指導部に対する下部大衆
 の批判がようやくひろがりはじめたときになって、官僚階級
 の幹部は、自らの無能力を隠蔽し、大衆的を支持を回復するた
 めに左翼へのトコボ返りを演出せねばならなかった。五〇年に行
 ったコミンフォルム機關紙無署名論文における野坂批判も、中
 西プロレタリアートの斗争の中で、すでにいくたびか、その破産
 を証明してきた日和見主義の基本的立場に立ちながら、極端な左
 への転換によって、五一〜五二年のグロテスクな冒険主義を
 満するものに他ならなかったのである。官僚主義的権威主義
 によって日本共産党の民族主義的指導者の威信を傷つけたそ
 の批判の方法は、コミンフォルムが持つ、労働者回りの官僚体制
 の権威主義的指導部が、真にホリエンゲイキ的の戦術をもたず、
 官僚体制の維持と大衆斗争の圧力との間に立って、極右か
 極左へのシグザグをくり返すという事実を物語るものであった
 とはいえ、コミンフォルムの野坂批判は、当時の日本共産党の
 民族主義と改良主義に對するきびしい批判を含んでいたのである。
 したがって、いざいざ党内斗争と討論を通じて、党を真に階級的前
 進部隊として再生するための社会とせねばならなかった。だが、

それによってもたらされ、日本共産党史上かつてない規模ときびし
 くなれた大分派斗争にもかかわらず、党は一層の極端な右翼自
 和見主義と極左セント主義の泥沼にプロレタリアートをひきこみ、
 党内民主主義の完全な圧殺によって、五ヶ年半にわたる日本の革命
 運動の危境をみちびいたのであった。

徳田、野坂、志田等政治局、教派分派の民族主義者等が、批判に
 対して示した「所感」は、終始階級権威と自らの権威主義にたより
 つつも、愛憎を強弁ととん群を用いてきた、過去の自らの誤りを
 正する社会をつかえより、自己の権威の失墜を恐れる官僚主義の
 欠陥を最も端的に表現した歴史的な書となった。だがそれは階級権
 威主義に反対する何らかの革命的意旨を持つていたであらうか？
 十八年中本における討論の経過が明白に物語っている。公許場にと
 どけられた「人民日報」の批判によつて、徳田分派は「所感」をひ
 らがえし、論評の「積極的意旨」を承認したのである。四九年の革
 命的高揚を押しつぶした政治的破産の中から生まれた党内の革命的
 分争は、このときはじめて党内官僚主義の覆面によって傷口をひら
 いた党内組織の病根に對して、はきり立せしめて、斗争の決意を
 固めるに至った。中西功らの聲明と、志賀重昂書の配布という諸行
 為は、決して官僚主義的処分によつては解決されず党内の矛盾の
 累積を示すものであった。

一九四九の「統一」にかんする決計にもかかわらず、所感分派は
 分派活動を続けると共に、五月には最も強力な革命的部分をた全
 浮連、東大、早大などの学生細胞の解散を行ひ、六、六追放と同
 時に臨時の指令という組織破壊活動によつて全党を分裂させる
 に至つた。朝鮮人民の回際帯回主義に對する敢然たる斗争の前夜に
 中央委員会政治局の多数派分派は、一時的な組織的排除によつて、
 党を分裂させたのである。

六月から八月にかけて、各地におこつた、全国的な、はげしい党
 内斗争が展開された。朝鮮人民の血みどろの斗争と日本プロレタリ
 アートにおこつたはげしいレッドパージの嵐の中で、日本共
 産党は何一つ統一的政策と指導をもつてなく混乱をつづけた。

このように時期にも民族的団結をむねう指導部は、分派活動を各
 定することや重にホリエンゲイキ的の、てきまきであらうか。日本
 共産党の革命的統一のために立ち上ることを各定することや重に
 であらうか。官僚主義によつておこされたオ七回党大会でも、こ
 れを断ずることはついにできなかった。八月から九月にかけて、
 全回統一委員会(野田派)、回際派(中西派)、統一戦線(福本
 派)などの分派組織が誕生した。ここに全回統一委員会、徳田派
 から排除された中央委員等よび、南西、中西の地方委員会を管めた
 画期的な党内分派として結成され、九、三社説による統一の失敗後
 東京の統一会を中心に五十二年十月、二〇中争の争点による解
 散に至るまで一年余り、公然たる党内分派として活動を続けた。

十月には「党の統一促進のためにわれわれは進んで原則に返る」こ
 とを聲明して、自らの組織を解体した。とくに志賀重昂は九、三の
 に及村派中央委員の共同行動から離脱して、独自に臨時への復帰を
 はかろうとしたのである。中西の意見書に對して、そのおどろくべ
 き官僚主義を証明した志賀の「プロレタリア回際主義」とは回
 際主義以外のものでもなかった。

オ二に、回際派分派が革命的な党内斗争の意旨に對して正し
 理解を欠き、ついに党の統一と鉄の団結というホリエンゲイキ的の
 神話を粉砕することができず、徹底的な党内斗争の展開を妨げられ
 たことである。党の分裂は人民から執り立て、ついに臨時の革命
 運動と党の発展に決定的な損害を与えた。いかなる事態に際しても、
 党の統一と団結を守ることはオ一オ二の革命的任務である。この
 五〇年の党の不幸な分裂からわれわれが学ばなければならぬのは、
 一の教訓である。野坂参三のべた。「しかし、私は分派と一の
 の関係を、分派根絶の目的に斗争する」と徳田が自己批判した
 臨時中の原稿の遺をえらんだとき、それは党の革命化のために
 もたらしたであらうか。「党の分裂」という象徴的現象そのものが
 「わが回の革命運動に決定的損害を与えた」のでは決してない。こ
 れに党を分裂に導き、日本革命運動を破滅させた徳田分派の意旨
 をはなれては党の統一はありえなかつたのである。党の分裂の意旨
 は、五〇年九月から十月にかけて提出された武蔵斗争の臨時
 コミソの報告と相照らして、明らかに野坂派の野坂批判の適合
 の上に立った、地獄的党内斗争の形式に強固な野坂批判の適合
 によつて必然化されたのである。回際派分派がコミンフォルムに
 對する盲目的権威主義と、党の統一という無内容な言葉に偽装され
 た党内斗争を放棄したときに、極左冒険主義の絶対化と絶望的
 内官僚主義の確立が可能にされたのである。

オ三に、反回派分派が真に革命的細部をたすに、その下に
 一的な党内斗争を展開することができなかったことが、分派斗争を
 勝利にみちびくことをできなかった。徳田分派の踏み絵ともなつた徳
 田の五〇年テーゼは、その基本的な革命の展望において、当時回際

オ二に、九、三社説が出るや、統一委員会「一門」の分派の解消
 ・分派問題を相互案件として統一の申入れを臨時に對して行ひ、

その下に、

第一、世界プロレタリア革命の中心はロシアプロレタリア革命に在り。今日世界の大衆は、この革命の勝利を待たざるを得ない。第二、この革命は、資本主義の没落と共産主義の勝利を意味する。第三、この革命は、人類の解放を意味する。第四、この革命は、平和を意味する。第五、この革命は、正義を意味する。第六、この革命は、進歩を意味する。第七、この革命は、希望を意味する。第八、この革命は、未来を意味する。第九、この革命は、理想を意味する。第十、この革命は、現実を意味する。第十一、この革命は、歴史を意味する。第十二、この革命は、文化を意味する。第十三、この革命は、道徳を意味する。第十四、この革命は、宗教を意味する。第十五、この革命は、政治を意味する。第十六、この革命は、経済を意味する。第十七、この革命は、教育を意味する。第十八、この革命は、科学を意味する。第十九、この革命は、芸術を意味する。第二十、この革命は、生活全体を意味する。

十月革命の中心は、西歐諸国へおけるプロレタリアートの革命に在り。今日世界の大衆は、この革命の勝利を待たざるを得ない。第二、この革命は、資本主義の没落と共産主義の勝利を意味する。第三、この革命は、人類の解放を意味する。第四、この革命は、平和を意味する。第五、この革命は、正義を意味する。第六、この革命は、進歩を意味する。第七、この革命は、希望を意味する。第八、この革命は、未来を意味する。第九、この革命は、理想を意味する。第十、この革命は、現実を意味する。第十一、この革命は、歴史を意味する。第十二、この革命は、文化を意味する。第十三、この革命は、道徳を意味する。第十四、この革命は、宗教を意味する。第十五、この革命は、政治を意味する。第十六、この革命は、経済を意味する。第十七、この革命は、教育を意味する。第十八、この革命は、科学を意味する。第十九、この革命は、芸術を意味する。第二十、この革命は、生活全体を意味する。

今日世界の大衆は、この革命の勝利を待たざるを得ない。第二、この革命は、資本主義の没落と共産主義の勝利を意味する。第三、この革命は、人類の解放を意味する。第四、この革命は、平和を意味する。第五、この革命は、正義を意味する。第六、この革命は、進歩を意味する。第七、この革命は、希望を意味する。第八、この革命は、未来を意味する。第九、この革命は、理想を意味する。第十、この革命は、現実を意味する。第十一、この革命は、歴史を意味する。第十二、この革命は、文化を意味する。第十三、この革命は、道徳を意味する。第十四、この革命は、宗教を意味する。第十五、この革命は、政治を意味する。第十六、この革命は、経済を意味する。第十七、この革命は、教育を意味する。第十八、この革命は、科学を意味する。第十九、この革命は、芸術を意味する。第二十、この革命は、生活全体を意味する。

今日世界の大衆は、この革命の勝利を待たざるを得ない。第二、この革命は、資本主義の没落と共産主義の勝利を意味する。第三、この革命は、人類の解放を意味する。第四、この革命は、平和を意味する。第五、この革命は、正義を意味する。第六、この革命は、進歩を意味する。第七、この革命は、希望を意味する。第八、この革命は、未来を意味する。第九、この革命は、理想を意味する。第十、この革命は、現実を意味する。第十一、この革命は、歴史を意味する。第十二、この革命は、文化を意味する。第十三、この革命は、道徳を意味する。第十四、この革命は、宗教を意味する。第十五、この革命は、政治を意味する。第十六、この革命は、経済を意味する。第十七、この革命は、教育を意味する。第十八、この革命は、科学を意味する。第十九、この革命は、芸術を意味する。第二十、この革命は、生活全体を意味する。

スターリン死後五年に於いて、小だたひつくりあつた反
 共主義体制の一時的中的安定は、スターリン崇拜と稱も稱
 なき専制の担持者には、労働者大衆の力を活用して一定の打
 破を、大衆には便宜な歩歩を示すという政治的手法によつて支
 持されているのである。それ故にこの安定は、現権維持の専制共
 産主義のローマ、世界革命の対立を築き、ついでである。

だが、この専制体制の歴史的任務を遂行するに、それ
 のついでなる影響、四共主義の専制に於ける致命の反共的性
 質を顕明することになり、その結果である。フルシヤコフは、大衆の正
 義を利用してモロトフを追放し、反のついでに、専制体制の
 ついでに、ハンカリーの革命的プロレタリアートを専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制を、ハンカリーの革命の専制
 するプロレタリアートの専制を、ハンカリーの革命の専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する

だが、これは先づいふべきで、政治的・経済的を併せて
 して、その専制体制の専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する

トは、第二次大戦の平和的、一時的な増大と、専制の専制の専制
 共産主義の専制の専制の専制の専制の専制の専制の専制の専制
 共産主義の専制の専制の専制の専制の専制の専制の専制の専制
 共産主義の専制の専制の専制の専制の専制の専制の専制の専制
 共産主義の専制の専制の専制の専制の専制の専制の専制の専制

だが、この専制体制の専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する

だが、これは先づいふべきで、政治的・経済的を併せて
 して、その専制体制の専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する

第一、この専制体制の専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する

だが、これは先づいふべきで、政治的・経済的を併せて
 して、その専制体制の専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する

日本プロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する

だが、これは先づいふべきで、政治的・経済的を併せて
 して、その専制体制の専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する
 ことになり、ハンカリーの革命の専制するプロレタリアートの専制
 するプロレタリアートの専制するプロレタリアートの専制する